

相 双 地 方 推 進 本 部（弥生）

地方推進本部・地方農業圏確立推進協議会等・農林業団体・農業事業体等の活動状況

相双地方農薬適正使用推進会議を開催（原町市）

3月13日、相馬地方農業共済組合大会議室において、当事務所主催で相双地方農薬適正使用推進会議を開催しました。これは、昨年12月に農薬取締法が改正され、3月10日から施行されたのを受け、改正点の周知を図るために説明会を開催したものです。福島県病虫害防除所より講師を迎え、相双地方の市町村、経済連、ＪＡ、農薬販売業者、農家代表者等、約60名の参加がありました。

無登録農薬の流通・使用の事実が社会的な問題となり、国民の「食」に対する信頼が大きく揺らいだことから行われた今回の法改正は、農薬使用者の責任が重くなり、農業者には直接関わりのある内容となっております。今回は、指導者・代表的立場の方にお集まりいただいたき、関係者が一体となって、農薬の適正使用について推進することといたしました。

農村女性経営者の研修会を開催（原町市）

3月11日、相馬地方農村女性経営者エンパワーメント会研修会が開催されました。エンパワーメント会は、農業経営に主体的に参画している女性（県女性農業士、指導農業士パートナー、女性農業委員）で組織され、農業経営の改善などに関する知識や技術習得、向上のために活動を行っています。

研修会では「今、輝いて生きる」と題して、双葉町の川崎学園理事長の川崎葉子先生より、家事と育児をこなしながらカルチャーセンターを設立した道のりや「さくらのてがみ」等の町おこしの活動の体験をもとに、生涯学ぶことの楽しさや美しく生きるための心得について講演をしていただきました。参加者は、川崎先生のお話に熱心に聞き入っており、今後の生活や農業経営にやる気と自信を持ったようです。

「エスシーグ・フクウラ（小高町）」豊かなむらづくり顕彰事業で表彰

3月14日、「豊かなむらづくり顕彰事業」の表彰式が福島市の杉妻会館で行われました。当管内からは小高町のエスシーグ・フクウラが農業生産を主体とする集団の部門において優秀集団として表彰され、県知事賞と福島民友社長賞が贈られました。

エスシーグ・フクウラは、県営ほ場整備事業（浦尻地区、桃内地区）を契機に、地域一丸となった集落営農システムづくりと担い手育成を目指し、平成12年に発足した大豆転作受託組合です。排水条件が悪く転作作物の定着しなかった地域で大豆を導入して、定着させた点が高く評価されました。また、当組合をモデルに近隣地域でも転作組合の結成が進められており、波及効果も認められています。

関係者の皆さん、栄えある受賞おめでとうございます。更なるご発展を心よりお祈り申しあげます。

農業集落排水事業飯樋地区の通水式が行われる（飯舘村）

3月24日、飯舘村で「飯樋地区農業集落排水処理施設」の通水式が行われ、村、県、管理組合など関係者約30名が完成を祝いました。

この処理施設は、平成 10 年度に事業採択され、完成により 157 戸、710 人を対象に、1 日当たり最大 234 m³のし尿と生活排水が処理されます。処理場と管路が整備されたことにより水質浄化と自然環境の保全が図られます。

福島県健全な食生活相双地方推進協議会を開催（原町市）

3 月 24 日、原町市において「福島県健全な食生活相双地方推進協議会」の平成 14 年度第 2 回会議を、委員 7 人全員の出席を得て開催しました。

今回は、平成 14 年度の活動報告、平成 15 年度の事業計画、地産地消の取組などについて協議した後、意見交換を行い、「若い人は、今の食生活ではいけないという危機感を持っている」「消費者は、直売所に品揃えを求めているのではなく、安全・安心を求めている」等活発な意見が出されました。

その他・トピック事項

津島活性化グループ（浪江町）が「女性グループの生活・生産活動に関する表彰」で農林水産省経営局長賞を受賞

3 月 7 日、東京都の日本青年館で行われた第 16 回農山漁村女性の日記念行事において浪江町の津島活性化グループが農林水産省経営局長賞を受賞しました。この賞は、社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会が主催し、全国の地域活性化等の活動をしているグループを対象に実施している「女性グループの生活・生産活動に関する表彰」です。



平成 14 年度は、全国 34 道府県から 43 団体の応募があった中で最終審査まで残り、見事栄誉に輝きました。

受賞にあたっては、平成 9 年からはじめた地域住民との交流や、農産物の加工・直売活動を通して、グループ員の経営改善を図るとともに、地域の活性化に大きく貢献したことが高く評価されたものです。

今後益々の活躍を期待したいと思います。

松川浦で潮干狩り解禁（相馬市）

3 月 21 日、相馬市の県立自然公園松川浦で潮干狩りが解禁となりました。

観光客らは、青々としたノリ棚が広がる松川浦に続々と入り、アサリを網いっぱい詰めて、相馬の本格的な観光シーズンの幕開けを告げる潮干狩りを満喫していました。

潮干狩りは 8 月末まで楽しめますので、是非いらしてみてください。